

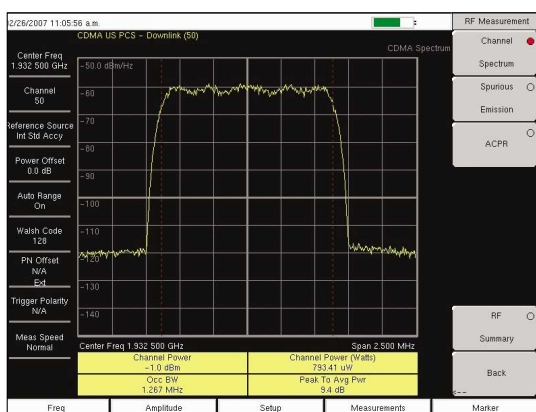
MS272xB コンパクト・スペクトラム・アナライザと
MT8222A 基地局アナライザのオプションに
CDMA/EV-DOを追加ラインナップします。

CDMA/EV-DOの評価が基地局と接続するか、 あるいは空間電波で測定が可能。

MS272xB / MT8222Aは、CDMA信号を基地局あるいはアンテナを測定器と接続することによって空間電波で測定することができます。

1xRTT 用RF測定機能 (オプション42)

RF測定機能は、送信された信号のパワー、スペクトラム形状、隣接したチャンネルパワーおよびスプリアスエミッションを測定するのに用いられます。以下に示す測定項目は、CDMA基地局のRF特性を評価するのに役立ちます。

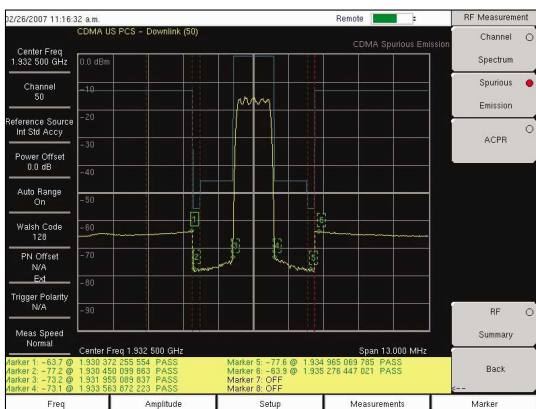


CDMAチャンネルスペクトラム測定表示

チャンネルスペクトラム：チャンネルパワー、占有帯域幅とPeak to Averageパワーの数値に加えて指定されたチャンネルの範囲でのスペクトラムを表示します。

隣接チャンネル電力比 (ACPR)：隣接チャンネル電力比 (ACPR) 測定は、メインチャンネルと2つの隣接したチャンネルのチャンネルパワーを棒グラフと数値で表示します。ユーザは、最大5つのメインチャンネルで構成することができます。

スペクトラムエミッションマスク：この測定は、特定のオフセット (信号標準に基づく) で、入力信号のスペクトラムを示します。マーカは、これらのオフセットでパワーを測定し、信号標準によってセットされる範囲でPASSまたはFAILを決定するために、自動的に調整されます。青いラインで示すマスクは、スペクトラム上で視覚的にPass/Fail状況について認識するため表示されます。



CDMAスプリアスエミッション測定表示

CDMA 基地局の状態を復調して評価できます



CDMA コードドメインパワー測定表示

1xRTT用復調機能(オプション43)

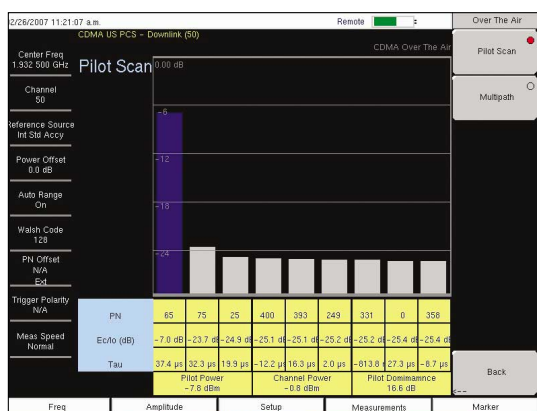
復調機能による測定では、コードドメインパワーをグラフまたはテキスト形式で表示します。以下に示す測定項目は、CDMA基地局の変調品質を評価するのに役立ちます。

CDP : コードドメインパワー測定は、復調されたコード(ウォルシュコードが128にセットされるならば、ビット反転コードとして)のパワーを示します。Rho(波形品質)、周波数エラー、平均ノイズフロアとTau(パイロット時間許容値)は、計算により示される数値です。コードは16、32または、64のズームで確認することもできます。マーカは、コードパワーとコードタイプを分析するときに利用できます。

CDP一覧表 : 測定結果の表示は、実行中の全てのカラーコード化されたコードを表形式で示します。

1xRTT用空間電波測定機能 [OTA] (オプション33)

基地局が破滅的な状態に陥る前に、基地局の品質問題を確認するため費用効果が高い測定方法を提供します。従来、基地局の状態を試験するために、セクターまたはサイトを停止しなければなりません。今日では、車に座った状態でこれらの測定をすることができます。空間電波による正確な測定のため、GPSアンテナは、GPSによるタイミングを照合するのに用いられなければなりません。



CDMA 空間電波測定表示

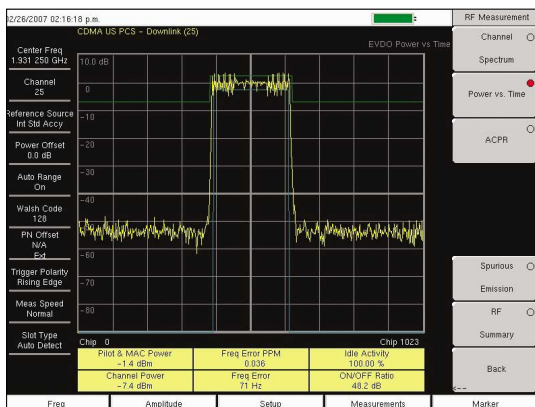
パイロットスキャン : 最大9個のパイロットを棒グラフで示し、あわせてそのパイロット番号を棒グラフの下に表示します。測定結果は、それぞれのパイロットでパイロット番号、Ec/Io、Tauを示します。さらに、パイロットパワー、チャンネルパワー、Pilot Dominanceも表示します。

マルチパス : 最もパワーの強い6個のパスを示します。それぞれのパスで、棒グラフの下のテーブルには、Ec/IoとTauを示します。また、チャンネルパワーとマルチパスパワーも示されます。

EV-DOのネットワークパフォーマンスの最適化に

EV-DO

CDMA技術の3G進化により、1xEV-DOは最高2.4Mbpsのデータ信号速度を提供します。さらに、より大きなシステムとしての能力と低コストを提供し無線ブロードバンドを可能にします。CDMA2000 1xEV-DO (EVDO) システムは、cdmaOneとCDMA2000システムと互換性を持っています。



EV-DO パワー対時間測定表示

1xEV-DO用RF測定機能 (オプション62)

RF測定機能は、送信された信号のパワー、スペクトラム波形、隣接したチャンネルパワーとスプリアスエミッションの測定に用いられます。以下に示す測定項目は、EV-DO基地局のRF特性を評価するのに役立ちます。

チャンネルスペクトラム：チャンネルスペクトラム測定は、指定されたチャンネルのスペクトラムに加えてチャンネルパワー、占有帯域幅とPeak to Average Ratioを数値表示します。

パワー対時間：この測定はEVDOハーフスロットのタイムドメインを示して、何人のユーザが基地局に接続しているかという基準になるアイドル活動の%を明らかにするのに役立ちます。

隣接チャンネル電力比 (ACPR)：隣接チャンネル電力比 (ACPR) 測定は、メインチャンネルと2つの隣接したチャンネルのチャンネルパワーを棒グラフと数値で表示します。ユーザは、最大5つのメインチャンネルで構成することができます。

スペクトラムエミッションマスク：この測定は、特定のオフセット (信号標準に基づく) で、入力信号のスペクトラムを示します。マーカは、これらのオフセットでパワーを測定し、信号標準によってセットされる範囲でPASSまたはFAILを決定するために、自動的に調整されます。青いラインで示すマスクは、スペクトラム上で視覚的にPass/Fail状況について認識するため表示されます。



EV-DO CDP MAC測定表示

1xEV-DO用復調機能 (オプション63)

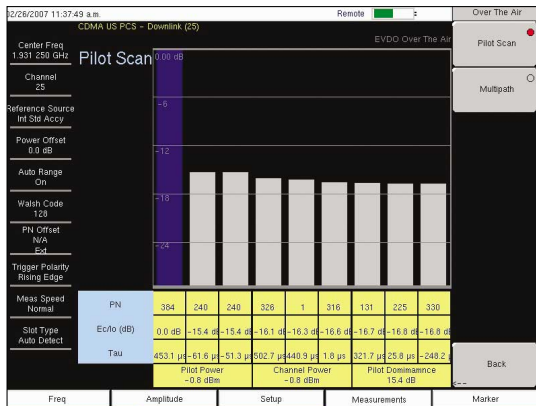
復調機能による測定では、コードドメインパワーをグラフまたはテキスト形式で表示します。以下に示す測定項目は、EV-DO基地局の変調品質を評価するのに役立ちます。

CDP MAC：この測定値は、MACチャンネルでそれぞれに復調されたコードのパワーを表示します。パイロットとMACパワー、Rho (波形品質)、周波数エラーと平均ノイズフロアを計算により数値表示します。コードのズームも16、32または、64のコードで実施できます。マーカは、コードパワーとコードタイプを分析するときに利用できます。

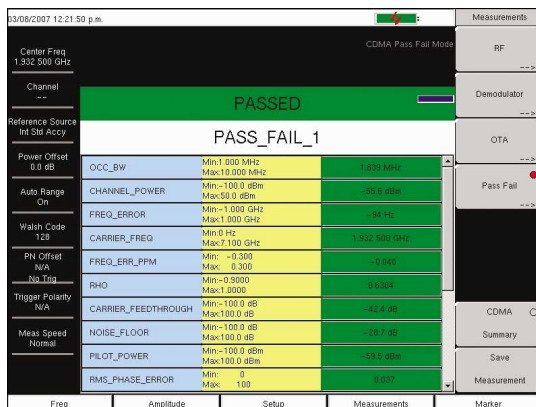
CDPデータ：この測定は、16個のIデータと16個のQサブチャンネルデータのパワーを個々に表示します。

MAC CDP一覧表：この測定は、全てのアクティブコード化されたMACチャンネルをカラーで表形式で示します。

基地局のパフォーマンスを確認する費用効果が高い方法



EV-DO 空間電波測定表示



EV-DO Pass/Fail測定表示

1xEV-DO用空間電波測定機能 [OTA] (オプション34)

基地局が破滅的な状態に陥る前に、基地局の品質問題を確認するため費用効果が高い測定方法を提供します。従来、基地局の状態を試験するために、セクターまたはサイトを停止しなければなりません。今日では、車に座った状態でこれらの測定をすることができます。空間電波による正確な測定のため、GPSアンテナは、GPSによるタイミングを照合するのに用いられなければなりません。

パイロットスキャン：最大9個のパイロットを棒グラフで示し、あわせてそのパイロット番号を棒グラフの下に表示します。測定結果は、それぞれのパイロットでパイロット番号、Ec/Io、Tauを示します。さらに、パイロットパワー、チャンネルパワー、Pilot Dominanceも表示します。

マルチパス：最もパワーの強い16個のパスを示します。それぞれのパスで、棒グラフの下のテーブルには、Ec/IoとTauを示します。また、チャンネルパワーとマルチパスパワーも示されます。

Pass/Failモード

MS272xBシリーズとMT8222Aは、CDMAとEV-DOのためにオートメーション化したPass/Failテストを実行することができます。試験結果は、最小/最大のしきい値と実際の測定結果を明確なPASSまたはFAILで確認できるテーブルフォーマットで示されます。マスタソフトウェアツールを使用して、カスタムメイドしたテスト内容は、簡単に作成でき、測定器にダウンロードすることができます。

性能

1xRTT用RF測定機能 (オプション42) &
1xEV-DO用RF測定機能 (オプション62)

チャンネルパワー精度：±1.5 dB、±1 dB (代表値)
RF入力 +20 ~ -50 dBm

1xRTT用復調機能 (オプション43)

残留Rho：>0.99、0.995 (代表値) RF入力 +20 ~ -50 dBm
Rho精度：±0.01、Rho>0.9
周波数エラー：±20 Hz+タイムベースエラー、99%の信頼性レベル
PNオフセット：1×64チップ以内

1xEV-DO用復調機能 (オプション63)

復調測定は1xEV-DO Rev.Aで規定
残留Rho：>0.99、0.995 (代表値) RF入力 +20 ~ -50 dBm
Rho精度：±0.01、Rho>0.9
周波数エラー：±20 Hz+タイムベースエラー、99%の信頼性レベル
PNオフセット：1×64チップ以内
パイロットパワー精度：±1.0 dB、チャンネルパワーと比較して
Tau：±1 μs、±0.5 μs (代表値)

1xRTT用空間電波測定機能 (オプション33) &
1xEV-DO用空間電波測定機能 (オプション34)

オーダリング・インフォメーション

ご契約にあたっては、形名・記号、品名、数量をご指定ください。

品名は、現品の表記と異なる場合がありますので、ご了承ください。

以下のオプションは、MS272xB コンパクト・スペクトラム・アナライザとMT8222A 基地局アナライザに利用ができます。

- オプション33 1xRTT用空間電波測定機能 (オプション9、31、43が必要)
- オプション42 1xRTT用RF測定機能
- オプション43 1xRTT用復調機能 (オプション9が必要)
- オプション34 1xEV-DO用空間電波測定機能 (オプション9、31、63が必要)
- オプション62 1xEV-DO用RF測定機能
- オプション63 1xEV-DO用復調機能 (オプション9が必要)

安リツ株式会社
http://www.anritsu.co.jp

本社 / 〒243-8555 神奈川県厚木市恩名5-1-1
計測サポートセンター / TEL: 0120-827-221

R70 古紙配合率70%再生紙を使用しています。

このカタログの記載内容は2007年5月24日現在のものです。
No. MS272xB_C2K.Op-J-A-1-(1.00)

ddc/CDT

11410-00425J